

あかし楽歴史講座

明石市政 100 年 — これまで、そして、これから —

2019 年 6 月 1 日

明石文化財調査団

山下 俊郎

総論 明石市のあゆみ

1. はじめに

竹内 隆 先生

小さな目・児童の詩 明石城どんとこいまつり

茨木一成 先生

日本中世史 『明石年中行事』

『明石郷土史料』「時斗坊主」



四十九	四十七	四十五	四十三	四十一	卅九	卅七
時斗坊主	御作事目付	御帳付	御酒方役人	五歩一役人	御料理人	御金方小算

2. 明石市歌

市制施行 10 周年記念 1929 年制定

作詞 尾上柴舟・作曲 おかのていいち 岡野貞一

【ほのぼのと明石の浦の朝霧に 島がくれゆく 舟をしぞ思ふ】

(1) ほのぼのあけゆく 朝霧がくれ

(2) 東と西との 要路をしめて

・二見港 ⇄ しんはま 新浜 (愛媛) ・こうのしま 神島 (岡山) ・こおつじま 小夫下島 (愛媛) ・
大阪・神戸

3. 明石海峡の潮流

4.

『古事記』 稗田阿礼・太安万呂 712年編纂

神武天皇の東征 ^{はやしいなど}速吸門 亀の背に乗りて・・・・・・来る人

満潮・干潮 6時間ごとに転流 3～5ノット（時速5.5～9km）

4. 古墳の造営

五色塚古墳（神戸市垂水区） 4世紀末 兵庫県最大

財源 朝鮮半島 鉄の輸入

応神天皇陵古墳 古市古墳群・仁徳天皇陵古墳 百舌鳥古墳群

仁徳天皇陵古墳 築造費 大林組試算 総工費796億円、工事期間15年8
か月、総作業員数6,807,000人、ピーク時1日2,000人

『日本書紀』 箸墓古墳 「この墓は、昼は人が造り、夜は神が造った」

5. 明石の空襲

「空襲が昼からやったら嬉しかった」

爆弾池・防空壕 長さ3.8m、幅1.6m、深さ1.5m

6. 母・父

総合選抜制度 昭和50年 導入 公立高校への入学試験

高校の受験競争の緩和・高校への進学率の維持

平成20年度の入試から廃止

大学への進学実績の大幅下落、成績が伸びないという問題

【うかりける 人を初瀬の 山おろしよ はげしかれとは 祈らぬものを】

源 俊頼

【書くものは皆書き終えて冬の日暮れるに間あり雪の降りくる】

【秋草のしどろが端にもものものしく生きを栄ゆるつはぶきの花】伊藤左千夫

7. まとめ

明石市歌 4番

○明石市歌

昭和4年10月26日告示第51号

明石市歌

市会ノ議決ヲ経明石市歌ヲ下記ノ通り制定シ昭和4年11月1日ヨリ之ヲ施行ス

明石市歌

1

ほのぼのあけゆく 朝霧がくれ
沖ゆく白帆の 今なほさやか
古松のひまより ^{おほき}大城の櫓
高くもそばだつ われ等の明石

2

にほへる島山 ひかれる^{しほじ}潮路
よろしと^め賞でつゝ いにしへ人も

東と西との ^{ようろ}要路をしめて

つくりて^{つた}伝へし われ等の明石

3

産業、工業、はた商業の

都となるべき きざしも^{しる}著し

「一^{えい}栄一落 ^{これ}是春秋」も

よそにて^{さか}栄えむ われ等の明石

4.

^{そせん}祖先の心を 心としつゝ

いよいよ高まる 理想をおひて

力を^{ひと}一つに 大きくきよく

^{あら}新たにつくらん われ等の明石